

## 台風18号に関する農作物被害実態調査概要

### 1 調査日

平成21年10月12日（月）

### 2 調査場所

愛知県豊橋市、田原市

### 3 出張者

生産局生産流通振興課参事官（園芸担当）	井内 雅明
〃 農業生産支援課鳥獣被害対策室長	大島 潔
〃 生産流通振興課課長補佐	清水 治弥
経営局保険監理官第1園芸施設損害評価係長	飯村 善昭
東海農政局長	竹森 三治
〃 生産経営流通部長	栗原 眞
〃 生産経営流通部園芸特産課長	西ノ坊嘉治

### 4 調査結果

#### （1）露地野菜（キャベツ、はくさい、ブロッコリー等）

冬場の主要な産地となっているキャベツをはじめとして、定植後2～3週間までの苗を中心に強風により損傷。沿岸部等、地域によっては潮害も懸念。

散水、防除、培土及び追肥等の管理が実施され、ある程度の生育の回復が期待されるものの、生育の遅れや減収が懸念。市町村及び農家は全体として1～3割程度の減収と推定。

なお、農家は、キャベツ等の生育回復が中心で、今後の冬キャベツ苗の再定植については、夏作（トウモロコシ、メロン等）に影響するため考えていないとのこと。

#### （2）施設野菜・花き（きく、トマト等）

広範囲にハウスの被覆資材（ビニールやガラス）の破損が見られるほか、施設内の作物も損傷（市町村の推定では8～

9割程度のハウスで何らかの破損が発生)。一部に強風や飛来物による倒壊も見られる。大きな被害が生じているのは、古いハウスが中心の様。

ビニールの破損については、農家が張り替えを進めている。ハウスの修復・再建とともに、破損したガラス片やパイプ等の資材の撤去・処理も課題。

被災農家は、ハウスの修復・再建等のために、無利子資金の融通等、財政的支援を要望。

(参考)

○ 台風18号による気象概要(10月7～8日、愛知県豊橋市)  
総雨量 94.5mm 最大瞬間風速 37.9m/s

○ 愛知県における被害(10月9日16時 愛知県発表)

野菜(冠水、損傷)	5,383ha	59.9億円
花き(冠水、損傷)	101ha	3.8億円
園芸施設(損壊、破損)	474ha	9.5億円